



Letters

レターズ / 会員の皆さんから寄せられたお便りをご紹介します。

群馬県邑楽郡 A・Yさん

主人を亡くし、当時3歳の娘と8ヶ月の息子をどのように育てていけばよいのか、これからどのように生きていけばよいのか、毎日のように悩んでいた。

実家に戻り、両親や兄妹にも支えられ、今ではとてもにぎやかな日常を過ごしている。今年息子は小学校へ入学する。過去は振り返らず、今、そしてこれからを大切に生きていきたいと感じています。涙から卒業、笑顔で子ども達と前進していきたいと思えます。皆様と一緒に頑張りましょう！

岡山県倉敷市 N・Cさん

先日主人の一周忌法要を無事終えました。とても早い一年でした。一周忌を過ぎ、本当に主人が帰ってこないことを実感させられ辛くなることも少し多くなりました。中3の長男は、通夜、葬儀と泣くのをこらえていた為か、体調不良で学校を休むことが多くなり、病院にもかかっていますが、なかなか以前のように毎日元気に学校へは行けません。きっと交通遺児の子供さんの中にはそんな状態になられた方もおられると思います。できたらそんな時親はどう接し、子供もどう変わってきたかとか、そういう情報があればありがたいです。

宮城県仙台市 I・Yさん

この度は入学祝い金をありがとうございました。夫が亡くなった時にお腹の中にいた子が中学生になるなんて、なんだかまだまだ信じられない気持ちです。

今、制服を注文していたお店から「制服が出来上がったので取りに来て下さい」と連絡がありました。早速、取りに行っておきたいと思えます。

大阪府大阪市 I・Mさん

昨年、長女が中学の卒業式の日、あの東日本大震災がありました。卒業式を終え、家で晩ごはんの用意をしている時に大きな地震があり、テレビでは映画のような津波のシーンが映っていたのを覚えています。

今年は長男の小学校卒業を3月に控えています。長女が4歳、長男が生まれてから1ヶ月半の時に主人が亡くなったので、この長男の晴れ姿を見てもらいたかったなあと思います。卒業式はやっぱり寂しいものですね。特に小学生が終わると思うと、どんどん親から離れていくようで…。今は2人とも反抗期ですが親子3人いつまでも仲良くやっていきたいと思えます。

山梨県韮崎市 T・Kさん

母子3人の生活になってもうすぐ11年、何とかやってこられました。「塾なし現役国立大合格」を謳う県立高に通う娘、人生最大級の山場を迎えています。

50歳目の母としては、手堅く地元の国公立を出て何がしかの資格を得て就職したのち堅い仕事の夫と早く子を成して幸せな家庭を築いてほしいと願うところですが、簡単ではありません。彼女は到底受からなさそうな、就職もままならなさそうな学部へ願書を出してしまいそうです。どうになってしまうのでしょうか。

スマイルズ新年号には、浪人中、芸術の道、小説家などのお子さんのことが書かれています。なんと器の大きいお母様たちかと尊敬するばかりです。



愛知県岡崎市

I・Kさん

只今、中学2年生の次男は超反抗期真っ最中で、話しかけても返ってくる言葉は「あ〜」「そう」「ふう〜ん」「いらん」と単語のみ。そんな中、長男は彼女ができてルンルン。それを見て私は少し癒されているかなあ(笑)。がんばれみんな(子ども達)と心でつぶやいている毎日です。

千葉県野田市

O・Nさん

あれからかれこれ10年の年月が流れようとしています。当時は人からどんな慰めや励ましの言葉を聞こうともただ悲しい気持ちだけで、一日一日をただやり過ごしていました。テレビを観て、泣いている場面を観ていても「作り話でしょう」と冷めた気持ちで涙なんて出ませんでした。どうしたらこんな気持ちから抜け出せるのでしょうか？

10年経って思うのは、「時薬」ですかね。色々な人に支えてもらいながら「時」が少しずつ心をほぐしてくれた。みたいな感じでした。今、すごく悲しんでいる方、「今日は3回笑う」とか目標を朝に決めてみて下さい。前を見て行きましょう。

スマイルズ新年号の「スマイルトーク」に登場していただいた食生活ジャーナリスト、岸朝子さんの記事に対し、たくさんの反響をいただきましたので、その一部をご紹介します。

大分県中津市

T・Eさん

岸さんの幼少時代の話を読み、勉強になりました。家族だんらんの方が少なくなってきた我が家には、一緒に食事をするという機会が減ってきていました。これを機にお盆やお正月など、みんなが揃ったときこそ、笑顔で食事して語り合いたいと思いました。ありがとうございました。

福島県郡山市

K・Yさん

私の母も食の仕事が好きで調理師の免許を持ち、社員食堂、産婦人科のまかないと、つい最近まで勤めていました。今は年金生活ですが、いつも美味しいもの、新しいメニュー、安くて栄養のバランスの取れたものを作ってくれます。いつも子供たちが楽しみにしています。岸先生も89歳で現役なんてすばらしいです。母は76歳です。そのように現役で元気でいられるのは“食の力”ではありませんか？

私もまだまだ現役で働かなくてはなりません。岸朝子さんの本を読んで勉強をしたいと思います。5人の子供がいますので、まだまだ倒れられませぬー。

静岡県焼津市

M・Tさん

最近、娘たちの受験、自分のための勉強、仕事等で忙しく、食に対してレパートリーも少なく、子供たちに「美味しくない！」なんて言われ、どうせ私の料理は…なんて悲観的に思っていました。でも、スマイルトークの岸朝子さんの記事を読み、これからは命に関わる食について真剣に勉強しようと考えさせられました。そして「美味しい」と言わせるように「どうせ」を「それなら」と前向きに考えを変えようと思いました。



【基金事務局より】……

新年度が始まり、小、中、高校へ進学したり、クラス替えで新しい環境になったり、毎日がドキドキの連続ではないでしょうか？ 緊張したときは、深呼吸をしてからにっこり笑って、まわりの人たちに話しかけてみましょう。

新しい先生や新しい友達など、すてきな出会いがあったら、ぜひ基金にも教えてください。たくさんのお便り、待っています。